

# 平成26年 富士見町重大ニュース

- |  |   |
|--|---|
| <p>① 過去に例を見ない豪雪災害<br/>(2月14日～15日)</p>  | <p>1週間前の50cmの降雪に続き、約1m50cmの豪雪災害が発生した。道路・鉄道の全線交通マヒが4日続いたが、停電を回避できたことは幸이었다。<br/>災害救助法が適用され、多数の帰宅困難者に対し、長野県・町・町民ならびに町内企業が緊急支援を行った。町内で1名の犠牲者があった。<br/>パイプハウスを中心とする農業用施設に巨額の被害(約9.2億円)が発生し、今なお復旧中のほか、除雪関連では1.4億円の臨時支出を要した。</p> |
| <p>② 全国消防操法大会に出場<br/>(11月8日)</p>   | <p>長野県代表の町消防団第一分団(御射山神戸区・栗生区)がポンプ車の部で準優勝(第4位)を果たす。(4月から訓練を開始し、町・諏訪地区・長野県の各大会を優勝して全国大会出場)</p>  |
| <p>③ 富士見駅開駅110周年<br/>(12月21日)</p>  | <p>12月21日に開駅110周年を迎えた富士見駅は、記念事業として9月28日に県内初となるブルートレイン信州を長野駅との間で往復運行した。</p>  |
| <p>④ 富士見町土地開発公社解散<br/>(3月31日)</p>  | <p>富士見町土地開発公社は昭和57年5月1日に設立されたが、公共事業用地を先行取得する社会的役割は達成されたため、平成26年3月31日解散の運びとなる。</p>   |
| <p>⑤ 図書館貸出数16年連続日本一を達成(年間)<br/>信毎選賞を受賞する(11月)</p>                            | <p>同規模の自治体図書館における町民一人あたりの年間貸出冊数が、16年連続で日本一となる。<br/>また文化・スポーツ活動等で社会に貢献し、将来なお活躍が期待される個人・団体に贈られる「信毎選賞」を受賞した。</p>   |
| <p>⑥ 長野県個人県民税の収納率が県下(町の部)で3年連続第1位となる(11月)</p>                                | <p>長野県個人県民税は、市町村が自己の市町村民税とともに収納し、県に納付している。県民税の滞納額が16年ぶりに50億円を下回った大きな要因が、個人県民税の収納率向上にあるとして、優秀な成績を収めた市町村に対し、県知事から感謝状が贈られた。</p>  |
| <p>⑦ ズビエ食肉加工施設 信州富士見高原ファームが開業(11月)</p>                                       | <p>(旧)入笠会館敷地内に、信州富士見高原ファームが稼働し、これまで廃棄されていた鹿肉等が富士見ブランドで販売開始された。</p>  |
| <p>⑧ 長野県富士見高等学校 日本学校農業クラブ全国大会出場および「全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト」東日本地区大会出場(10月・11月)</p> | <p>富士見高校農業クラブは、沖縄県で開催された日本学校農業クラブ全国大会に出場し、養蜂部は優秀賞を受賞、平板測量競技・農業鑑定競技も入賞を果たした。<br/>また、生徒会は学校自家産の赤いルバーブを使った「真っ赤な高原カレー」を開発し、「目指せ!カレー家族〜ルバーブカレーで地域を笑顔に〜」を東日本地区大会で発表し、優秀賞を受賞した。</p>  |
| <p>⑨ 南アルプス ユネスコエコパーク認定登録(6月12日)</p>  | <p>入笠山を含む南アルプスは長野・山梨・静岡の3県にまたがる日本を代表する山岳地帯であり、生物の多様性に富んだ自然環境を有しているとして、自然環境と文化を受け継ぐ取り組みがエコパーク認定された。</p>  |
| <p>⑩ 第65回長野県植樹祭「ふるさとの森づくり県民のつどい」開催(6月7日)</p>                                 | <p>富士見町では初、諏訪地方では8年ぶり5回目となる長野県植樹祭は、1400人が富士見パノラマリゾートに集い開催された。<br/>広葉樹約6000本を植樹した。</p>   |

※左欄番号は順位ではありません。



①過去に例を見ない豪雪災害



②ポンプ車の部で準優勝



③富士見駅開駅110周年



⑤16年連続日本一を達成



⑦一流シェフによる試食会



⑩広葉樹約6,000本を植樹